



人間型情報メディアによる対話支援

～人の想像力を最大限に引出し、人と豊かに関われるメディア～

背景と目的

人の存在を効果的に伝える人のミニマルデザインは、人の想像力を最大限に引き出し、人と豊かに関われるメディアを実現します。本研究では、人のミニマルデザインを採用した遠隔操作型アンドロイドを用いた対話によって、高齢者の生活の質の向上や認知症等の症状の緩和を支援する研究に取り組んでいます。

特徴

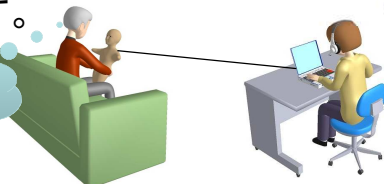
- 人のミニマルデザインに基づくロボットメディアが、人との豊かな対話を実現します。
- 高齢者の対話モチベーションを引き出し、対話によるQOL向上や症状緩和を目指します。
- 福祉先進国のデンマークとも協力して、新たな介護サービスの実現を目指します。

人と豊かに対話できるメディア

テレノイドは人に見えますが、誰にも似ていません。このようなデザインだと、人は足りない情報を自分に良いように想像してしまうので、テレノイドは人と豊かに話せるメディアとなるのです。



自分と話が合う人みたいだ



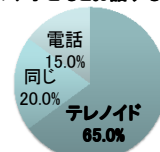
認知症高齢者の好反応

- 発話が引き出される
- 抱きしめ、あやす仕草などの反応
- うつ傾向で塞ぎ、無反応な人が、自ら話しかけるようになる
- 暴言や介護への抵抗を示す人が穏やかになる

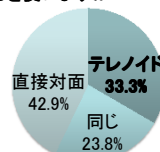
高齢者のテレノイドへの高い親和性



Q1) 子どもとお話するならどちらを使いますか？

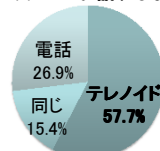


電話との比較

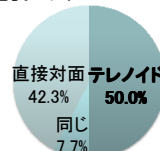


直接対面との比較

Q2) 大人とお話するならどちらを使いますか？



電話との比較



直接対面との比較

デイケアセンタ通所者へのインタビュー(N=26)

高齢者コミュニケーション支援サービスへ

テレノイドを用いた遠隔対話による高齢者支援の実用化に向けて、国内外の複数の高齢者施設と協力して導入方法や効果の検証を行っています。



今後の展開

サービス実用化に向け、高齢者施設の協力を得ながら、認知症状の改善などの長期検証、導入・運用プログラムの開発、ロボット・遠隔操作システムの機能改善、コミュニケーションボランティアの育成と実践に関するプログラム開発などを進めます。また福祉先進国デンマークとの共同研究を通して、サービスモデル構築やロボット介護の文化差の調査を行います。